



成長型ポートフォリオにおける債券の役割

債券のチカラ

一般的に、債券は守りの資産として定期的な収入は得られるものの、株式よりもリターンが低いと考えられています。しかし、成長型ポートフォリオにおいて無用というわけではありません。

資産形成を始めたばかりの、初期の資産積み上げ期の投資家を例に考えてみましょう。この投資家が資産を成長させるという目的を達成するためには、株式への相当大きな資産配分が必要になります。一方で、この投資家はポートフォリオの変動(ボラティリティ)を減らし、マイナスのリターンとなる可能性も減らしたいと考えています。

債券への投資は、資産の成長を大きく妨げることなくポートフォリオの安定性を提供してくれる可能性があります。

例えば、1998年から2017年までの20年間をみてみましょう。シナリオ1は、100%米国株式に投資するポートフォリオです。リターンは年率平均7.20%で、ボラティリティは14.87%でした。

一方、シナリオ2はポートフォリオの40%を米国債券に配分した場合です。ボラティリティは8.90%に低下します。確かにリターンは年率平均6.62%と、シナリオ1に比べて0.58%低くなってはいるものの、株式に100%投資したシナリオ1に近い水準といえます。

債券はどちらかといえば守りの資産として、元本の成長率も低い投資とみられていますが、成長型ポートフォリオでも重要で有益な役割を果たします。債券へ資産配分することにより、投資家の長期的な投資目標に大きな影響を及ぼすことなく、損失によるダメージを緩和できる可能性があります。

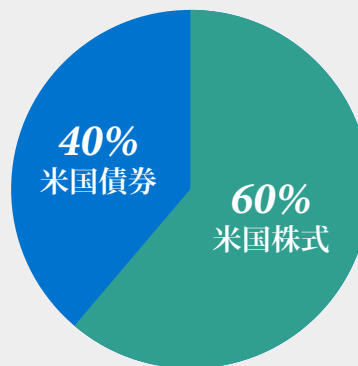
シナリオ 1: 100% 米国株式に投資した場合



平均リターン: 年率7.20%

ボラティリティ: 年率14.87%

シナリオ 2: 株式 + 債券に投資した場合



平均リターン: 年率6.62%

ボラティリティ: 年率8.90%

期間: 1998年から2017年までで、2017年12月31日現在。説明を目的とした仮説例。株式はS&P500インデックス、債券はブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスを使用。ボラティリティは、リターンの年率標準偏差。

インデックスに直接投資することはできません。

PIMCO

全ての投資にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。**債券**市場への投資は市場、金利、発行者、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デレージの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落し、現在のような低金利環境ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が市場流動性の低下や価格変動性の上昇をもたらす可能性があります。債券への投資では換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。**株式**の価値は一般的な市場、経済、産業の実体と見込み両方の状況によって減少する可能性があります。**外貨建てあるいは外国籍の証券**への投資には投資対象国の通貨価値の変動や経済及び政治情勢に起因するリスクを伴うことがあります。

本資料で言及した投資戦略が、あらゆる市場環境においても有効である、またはあらゆる投資家に適するという保証はありません。投資家は、自らの長期的な投資能力、特に市場が悪化した局面における投資能力を評価する必要があります。いかなる口座、商品、戦略についても、記載されている収益、損失または同様の成果を達成することを表明するものではありません。投資判断にあたっては、必要に応じて投資の専門家にご相談ください。

本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エル・ピーの米国およびその他の国における商標です。

本資料の一部、もしくは全部を書面による許可なくして転載、引用することを禁じます。本資料の著作権はPIMCOに帰属します。2018年

(注) PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。